



たべてる？



ぎゅーだ

議会

だより

もへじ

- 1000年フーズと 行田の農産物……………2
- 市長提出議案……………3～4
- 提出議案とその結果……………5～6
- 常任委員会の動き……………6～8
- 市政に対する一般質問……………9～14
- 議会日誌……………15
- 3月定例会日程表(予定)ほか……………16



3月	6月	定例会は 年4回
9月	12月	

令和7年2月12日発行

No. 123

# ～100年フード フライ・ゼリーフライ ぎょうだのおいしい農産物～

今号の表紙



文化庁では、我が国の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化「100年フード」と名付け、文化庁とともに継承していくことを目指す取組を推進しています。

行田といえば、古くから伝わるフライとゼリーフライを思い出す方も多いのではないのでしょうか？ 100年フードとは文化庁が認定する、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を指し、行田市ではフライとゼリーフライが認定されています。

また、行田市では米や麦のほか、野菜や果物も盛んに栽培されており、農産物直売所や、毎週日曜日の「はちまんマルシェ」などで新鮮でおいしい農産物などを買うことができます。

市議会ではこうした「食の文化」についても大切に、地産地消の推進やPRに取り組んでまいります。

補正予算、条例の改正、人事案件など  
13議案を審議しました

市長提出議案

条例改正等

○行田市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例（原案可決）

コミュニティセンターみずしろのギャラリー及び館内会議室等を貸し出すに当たり、現在1時間単位での時間貸しとしているが、午前、午後夜間及び1日単位での貸出しを加えるほか、所要の整備を行うものです。



○行田市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例（原案可決）

現在設置されている学童保育室のうち、民設の太井学童保育室について、泉小学校校内の教室の1つを学童保育室として活用することが可能になったことから、令和7年4月から泉小学校校内に泉太井第二学童保育室を設置しようとするものです。

【主な質疑】

**問** 泉小学校の視聴覚室を改装するに当たり、壁や床等の施設改修工事及び机、椅子等の備品の入替にかかる費用の内訳は。

**答** 施設改修工事請負費の内訳は、主に床の改修を行うもので、カーペットを撤去し、ビニール床シートに張り替える工事を行う。また、机や椅子は視聴覚室で利用されていたものを利用するため、新たに購入はしないが、飲み物やおやつなどを保存するための冷蔵庫や靴箱、保護者が迎えに来た時に知らせるテレビドアホンを設置するための費用を計上するものである。



○行田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（原案可決）

全国的に人材確保が困難になっている地域包括支援センターの現状を

踏まえ、センターに配置することとされている保健師等、社会福祉士等及び主任介護支援専門員等の3職種について、センターによる支援の質が担保されるよう留意した上で、複数拠点で合算して3職種を配置するなど、柔軟な職員配置を進めることとされたことから、行田市地域包括支援センターの職員数のほか所要の整備を行うものです。

【主な質疑】

**問** 今回の条例改正による人員規程の緩和について、市はどのように考えているのか。

**答** 市が条例を定めるに当たって従うべき基準である介護保険法の施行規則の一部改正によるもので、現在のところ、人員緩和の規程の適用は予定していない。今後、専門職の確保が困難な状況となった場合は、本条例に基づき地域包括支援センター運営協議会において、支援の質の担保という点に留意したうえで審議いただくなど、必要な対応をおこなっていく。

○訴えの提起について

令和5年12月に市内埼玉地区の道路にて、相手方が運転する車が道路反射鏡に衝突し、これを破損し、市に損害を与えたため、損害賠償等の

支払いを求めるものです。

### 【主な質疑】

**問** 相手方の保険の加入状況は。

**答** 事故発生当時において運転免許証が失効していたため、実費で修繕するとの申し出を受けており、一般的には任意保険の補償対象外と認識している。

**問** 相手方の支払い能力について、財産調査を行ったのか。

**答** 本件は市と原因者の民事訴訟であることから、訴訟に向けた準備を進めている時点では財産調査を行うことができない。仮に、相手方に支払いを求める判決確定をもってもお支払いがなされない場合には、市が簡易裁判所に申立てを行った後に、財産調査へと移行するものである。

### 補正予算 補正総額 7億9161万円余り

9月定例会後の情勢の変化に伴う各種経費の追加措置のほか、事業実施のための所要経費等を措置するものです。

歳出の主な内容は、総務費では自治会が管理する防犯灯の新設・移設・修繕等に係る設置費及び電気料に対する補助金に不足が見込まれることから、追加措置します。

また、法人市民税の確定申告に基づく予定納税額の清算に伴い、予算に不足が見込まれることから追加措置します。



民生費では、障害者手帳の所持者の増加に伴い、障害福祉サービス利用料や障害者通所給付費及び自立支援サービス等給付費に不足が見込まれることから追加措置します。

土木費では、行田市駅跨線橋修繕工事において、上部構造部に鉛が含まれていることが判明したため、その対応に係る負担金を新たに措置します。

また、古代蓮の里において電線ケーブルの盗難被害が発生し、一部設備が使用できないことから、幹線設備の復旧工事を行うとともに、マンホール蓋用ロック錠の設置など盗難防止対策を行うための経費を措置します。

また、忍・行田公民館の利用者の利便性向上や安全性への配慮の観点から、同公民館北側に新たな駐車場を整備するための経費などを措置します。

なお、これらの歳出を賄う財源として、国・県支出金、寄附金、繰越金及び諸収入により措置するものです。

### 議員提出議案

**意見書 意見書に係る機関に送付  
○農産物へのカメムシ類等及び高温障害への対策を求める意見書**

(原案可決)

埼玉県東部地区を中心に、昨年より水稲や野菜、果樹へのカメムシ類等による災害級の被害が広がっています。

稲作に関しては、カメムシ類等の被害に加え高温障害も重なり、収量が例年の1割ほどの農家もあるとの報告や、また不稔や斑点により品質等級が著しく低下するなど、来年の作付けに向けての資金確保どころか日々の生活にも大きな影響が出ています。

果樹や野菜につきましても、カメムシ類等の被害により、商品にならない品物が多く発生するなどの大

な打撃を受けており、埼玉県として地域の農業を支えていく必要性を強く感じております。つきましては、県が主体となり下記の事項を早期に実施するよう強く要望します。

1 カメムシ類等の防除については、広域・航空防除(ドローン)が効果的であることから、実施可能な地域では来年度の実施に向けて検討すること。

2 カメムシ類等が、農地以外にも生息しており、特に河川や公園の除草による飛来の報告があるため、除草時期に関しては、国・市町村・土地改良区など関係機関との連携を図ること。

3 今回の被害は災害と捉え、農薬による防除に対して、各戸への補助を検討すること。

4 大きな被害により、来年の作付けや栽培に影響が出ている農家へ、融資制度の周知や利用に係る支援を行うこと。

(提出先 埼玉県知事)



# 令和6年12月 定例市議会 提出議案とその結果

(市長提出議案)

(賛成:○ 反対:x)

議案番号	会派名及び議員名 議案名	議決結果	令和研究会										蒼倫維新			公明党			日本共産党				
			小林 淳一	駒見 行彦	新 諒平	村田 清治	小林 修	橋本 祐一	福島 ともお	町田 光	野本 翔平	梁瀬 里司	香川 宏行	岩崎 彰	小野寺 貴男	養田 英雄	吉田 豊彦	大屋 彰	木村 博	田中 和美	村田 秀夫	斉藤 博美	
(諮問) 第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(諮問) 第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第75号	専決処分の承認を求めるについて(令和6年度行田市一般会計補正予算(第5回))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第76号	令和6年度行田市一般会計補正予算(第6回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	議
第77号	行田市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第78号	行田市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第79号	行田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	議
第80号	行田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号	行田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	議
第82号	行田市水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	長
第83号	訴えの提起について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第84号	令和6年度行田市一般会計補正予算(第7回)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	x	議

(議員提出議案)

(議) 第3号	農産物へのカメムシ類等及び高温障害への対策を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---------	------------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※議長は採決に加わりません。(可否同数の場合は議長裁決となります。)

# 【お詫びと訂正】

**正**

議案番号	会派名及び議員名 議案名	議決結果	令和研究会										蒼倫維新			公明党			日本共産党		
			小林 淳一	駒見 行彦	新 諒平	村田 清治	小林 清修	橋本 祐一	福島ともお	町田 光	野本 翔平	梁瀬里司	香川 宏行	岩崎 彰	小野寺貴男	養田 英雄	吉田 豊彦	大屋 彰	木村 博	田中 和美	村田 秀夫
(議請) 第1号	「現行の健康保険証とマイナ保険証」の併用ができるよう国に対して意見書提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○
(議請) 第2号	新ごみ処理施設整備に関する市民説明会の開催を求める請願	〃	×	×	×	×	×	×	×	長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

**誤**

議案番号	会派名及び議員名 議案名	議決結果	令和研究会										蒼倫維新			公明党			日本共産党			
			小林 淳一	駒見 行彦	新 諒平	村田 清治	小林 清修	橋本 祐一	福島ともお	町田 光	野本 翔平	梁瀬里司	香川 宏行	岩崎 彰	小野寺貴男	養田 英雄	吉田 豊彦	大屋 彰	木村 博	田中 和美	村田 秀夫	斉藤博美
(議請) 第1号	「現行の健康保険証とマイナ保険証」の併用ができるよう国に対して意見書提出を求める請願	不採択	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×
(議請) 第2号	新ごみ処理施設整備に関する市民説明会の開催を求める請願	〃	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

## 請願の採決について（お詫びと訂正）

令和6年9月定例会における上記請願の議決結果につきまして、当初公開していたホームページ及び議会だよりの掲載に誤りがございました。ここにお詫びして訂正いたします。



○水泳授業委託事業（債務負担行為）  
老朽化している小学校のプールについて、今後の活用方法など、どのように考えているのか。

○過誤納金還付金  
過誤納金還付金の補正が必要となった理由について。  
法人1社の法人市民税について、予定納税後の確定申告を行った際に、売上げの減少と経費の増加があったため、結果として超過納税が発生したものである。例年、平均値などを参考に予算要求を行っているものの、今回、還付金の予算不足となるため、補正対応となったものである。

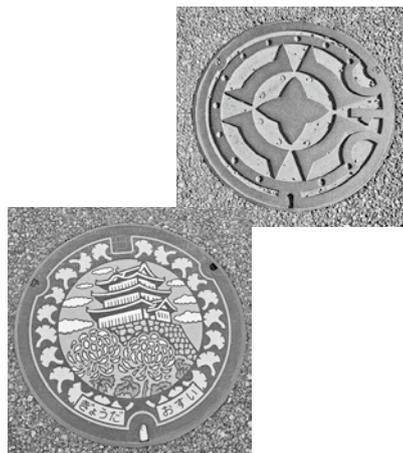
○古代蓮の里設備復旧事業  
本公園において、電線ケーブルの盗難事件が発生し、一部設備が使用できないため、幹線設備の復旧工事を行うとのことだが、具体的な盗難防止対策は。

令和6年度行田市一般会計補正予算（第6回）

### 総務文教常任委員会

○審査概要・活動

### 常任委員会の動き



○建設環境常任委員会  
プール施設の利活用等について、具体的な検討はしていないが、今後どのような活用方法がいいのかなど、検討していく必要があるものと考えている。

○古代蓮の里設備復旧事業  
本公園において、電線ケーブルの盗難事件が発生し、一部設備が使用できないため、幹線設備の復旧工事を行うとのことだが、具体的な盗難防止対策は。

令和6年度行田市一般会計補正予算（第6回）

### 建設環境常任委員会

○上荒井ポンプ場設備更新事業

**問** 自家発電機設備の交換工事において、世界的な半導体や電気部品不足の影響で納期に10カ月を要するため、繰越明許費を設定することだが、その間に不具合等は発生しないのか。

**答** 毎年設備点検を実施しているため、すぐに設備が動かなくなるというものではない。水害時でも安全に運転できるように、予防保全の観点からも更新を行うものである。

**健康福祉常任委員会**

○行田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

**問** 現在、行田市地域包括支援センターにおいて、3職種の配置状況は、5箇所すべてにおいて3職種が配置されている。



**問** 現在は改正内容に該当していませんが、今後、活用する可能性はあるのか。

**答** まずは、各地域包括支援センターにおいて人員確保に努めてもらうことになるが、必要に応じて改正後の条例に基づき、対応することも想定される。

令和6年度行田市一般会計補正予算(第6回)

○泉太井第一学童保育室設置事業

**問** 学童保育室の移設に関して、保護者等とスムーズに協議が進んだのか。

**答** 泉小学校区内の学童保育室を利用する保護者を対象にアンケート調査を実施した結果、反対の意見もなく、回答された方からは賛成の意見をいただいている。

**問** 泉小学校内に12台分の駐車場を新たに設置することだが、桜の木は伐採するのか。

**答** プールと校舎の間に砂利敷きの駐車場を設置する予定であるが、桜の木の伐採は予定していない。

○行田市国民健康保険条例の一部を改正する条例

**問** 国民健康保険税が上がり続けていき、滞納者の増加が想定されるが、その点の認識は。

**答** 滞納者の増加は予測できないが、過度な負担をかけないよう段階的に国民健康保険税率を改定すること、そして様々な方法により周知を行うことで理解をいただくとともに、納税についても、丁寧な案内を行うことで、滞納者が増えないように努めていきたい。

**「補正予算ってなんだろう?」**

地方自治法第218条第1項で「予算の調製後に生じた事由に基づいて、既定の予算に追加その他の変更を加える必要が生じたときに補正予算を編成することができる」と規定されています。

なお、主な補正理由は次のとおりです。

- 法改正等に伴う制度の見直しに伴うもの
- 国県等の補助事業等の内定があったもの
- その他、緊急を要するもの等



**市議会本会議の字幕配信を行っています。**



市議会では、情報発信の一環として、令和6年6月議会から議場の傍聴席及び本会議のライブ中継において、試験的にリアルタイムの字幕配信を実施しています。

インターネットでのライブ中継では字幕表示のオン・オフを切り替えることもできます。

ぜひご利用いただき、市議会をリアルタイムでご視聴ください。

◇配信されている映像及び音声は、公式記録ではありません。

◇字幕表示は、誤変換や通信環境等による遅延・切断が発生する場合があります。

# 行政視察

各委員会では、閉会中の活動として、市政の発展および行政等の適正な運営を行うために必要な高度で専門的な見識を高めることを目的として、先進市に赴き、その地域の実情・事例を調査するための行政視察を行いました。

## 総務文教常任委員会行政視察 令和6年10月23日～25日

○大阪府泉佐野市

### 「ふるさと納税の取組について」

ふるさと納税の返礼品について、新たな特産品を創る市内事業者への支援や、寄附受入窓口の充実など、全国トップクラスの取組状況について説明を受け、意見交換を行ったものである。

○大阪府岸和田市

### 「小・中学校の適正規模及び適正配置の取組について」

児童・生徒数や学級数、学校規模の現状を踏まえ、適正規模の考え方、また、今後の進め方等について説明を受け、意見交換を行ったものである。

○静岡県富士宮市

### 「移住・定住事業について」

地域の活性化や少子化対策として、移住定住奨励金や各種助成制度による支援、首都圏で開催される相談会など、実績ある取組について説明を受け、意見交換を行ったものである。



## 建設環境常任委員会行政視察 令和6年10月23日～25日

○兵庫県洲本市

### 「次世代エネルギーパークについて」

環境課題への取組として、再生可能エネルギーを積極的に活用する先進市を訪問し、放置竹林を燃料として活用する事例等を現地見学したものである。



○香川県東かがわ市

### 「災害応急用井戸及びIOTを活用した新たな取組について」

大規模災害等により広域的な断水が発生した場合に生活用水を応急的に確保するための井戸登録制度やIOTを活用した新たな地場産業の取組を視察し、官民連携等の推進について意見交換を行ったものである。

○徳島県吉野川市

### 「ごみ減量化の取組と支援について」

新ごみ処理施設の稼働を控えている中で、まち全体で取り組む「ごみ減量化」の施策等について聴取し、資源化を推進するモデル集積所等を見学したものである。



## 健康福祉常任委員会 令和6年11月5日～7日

○滋賀県草津市

### 「健康都市くさつの取組について」

市民に対する健康づくり事業の先進市を訪問し、「健康都市くさつ」と

して取り組んでいる事例や課題について、意見交換を行ったものである。



○広島県尾道市

### 「子どもの第三の居場所について」

子どもの居場所づくりの先進市を訪問し、常設の子どもの居場所の開設の経緯、施設での取組や課題について、意見交換を行ったものである。



○広島県東広島市

### 「地域共生社会推進のための取組について」

地域共生社会の実現に向けた取組の先進市を訪問し、事例や課題について意見交換を行ったものである。



市政について、各議員がみずからの政策提言も含めて、市に考えを聞くのが「一般質問」。  
12月定例会では17人の議員が一般質問を行いました。

# 一般質問



専用アプリで読み取ると  
議会中継がご覧いただけます。

## ◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。  
※12月定例会の会議録は3月に発行予定です。

## ◆インターネット議会中継

市議会の様子(生中継・録画映像)をパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。  
また、各議員の写真脇にあるQRコードから一般質問の録画映像をご覧いただけます。

## 行田市県産木材活用促進支援事業補助金について

養田 英雄 (蒼倫維新)



**問** 行田市県産木材活用促進支援事業補助金の概要について伺う。

**答** 森林環境譲与税を財源とし県産木材の利用促進を図るため、県産木材を使用した住宅、店舗、倉庫等の新築やリフォームをはじめ木塀やウッドデッキ等の外構施設の設置を行う所有者に対し、その費用の一部を補助するものである。

**問** 行田市県産木材活用促進支援事業補助金の申請件数について伺う。

**答** 1件の申請を受理しており、今後申請意向のある方から申請を予定している旨の連絡を数件受けている。

**問** 埼玉県の県産木材住宅等支援事業と行田市の事業は併用可能なのか。

**答** 県の補助事業との併用は可能である。

**問** 来年度も本事業は継続される予定はあるのか。

**答** 3年間の期間を限定して制度として立ち上げていくが、その後については効果等を踏まえて判断していく。

## 気候変動対策に取り組み、若者世代から選ばれるまちに!

野本 翔平 (令和研究会)



**問** 今後のまちづくりは気候変動対策や地球温暖化対策と同時並行で行う必要があると思うが市長の考えは。

**答** 議員(指摘のエコロジカルな視点はまちづくりの重要な視点である。現在策定中の第三次行田市環境基本計画は市政運営の軸となる特に重要な計画であり、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの3つの視点を今後のまちづくりに活かしていきたい。

**問** 若者たちから選ばれるまちになるためにも環境施策にしっかり取り組む必要があると思うが市長の考えは。

**答** 若者に選ばれるまちになるためには、気候変動対策に取り組んでいるというメッセージをしっかりと発信することが重要だと思っている。





## 障がい者福祉及び子育て支援について

小林 淳一(令和研究会)



**問** 優先調達令和5年度実績は約131万円で、令和4年度の4倍。この成果を出せた背景は何か。

**答** 庁内に対して積極的な調達を呼びかけ、役務の調達件数が増えた。今後も全庁に対して積極的な調達を呼びかけることが重要と考える。

**問** 日常生活用品目一覧の更新について。

**答** 令和6年9月に2品目を追加した。難病患者等を対象とした発動発電機外部バッテリー。もう一つは、主に膀胱機能障害の方や、重度の知的障害のある方を対象とした排せつ予測支援機器である。

**問** 一時預かり事業について、利用者のハードルを下げる改善をどう対応するか。

**答** 現在のホームページの掲載内容は、具体的な利用方法や手順を示せていない。この事業に関係する保育所等のご協力も得ながら、利用方法を分かりやすく掲載したい。

**【その他の主な質問】**  
○国民健康保険制度の円滑な運営について

## 公共施設の多額の修繕費は費用対効果を考えて実施しているか

斉藤 博美(日本共産党)



**問** 今後の公共施設の維持更新、除却する判断基準に建物の寿命はもちろん付属設備の耐用年数は入っているのか。

**答** 状況を確認した上で判断基準に反映している。

**問** 児童センターはあと5年後に除却の計画だが昨年度に約1900万円かけて空調設備更新工事を行っている。どんな協議のもと実施したか。

**答** 夏の時期に休館せずに利用いただくため修繕した。

**問** 壊れたものの速やかな修繕は必要だが、施設計画と修繕費用の費用対効果を念頭に実施されているのか。産業文化会館ホールもあと5年で廃止予定だが、数年前からの空調設備工事等で総額約1億円かけることに疑問がある。

**答** 有料入館施設である以上、一定の利用環境を確保する必要があると判断した。

**問** 同様にこれからホールの壊れていないトイレを1160万円で洋式にする工事についてはどう考えるのか。

**答** トイレの改修も環境整備の一環と考えている。

## 重点対策外来種「ホテイアオイ」について

福島 ともお(令和研究会)



**問** 日本生態学会が定めた日本の侵略的外来種ワースト100に選ばれている。南米原産で別名青い悪魔とも呼ばれている。ホテイアオイについてどのような認識でいるのか。

**答** 環境省と農林水産省が作成した我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リストにおいて、分布拡大や拡散の可能性が高い重点対策外来種として指定されている。なお、栽培する際には、十分に注意が必要な植物であるものと認識している。

**問** 南小児童によるあおいの池への投げ込みについてなぜ投げ込みをしているのか。

**答** 市民の方のご厚意により寄贈された苗を利用し、昭和50年から行われているもので、平成24年以降からは、本市で苗を購入し、実施している。

**問** 今後の方針は。

**答** 在来種の生態系へ悪影響を及ぼすおそれのあることや繁殖力の強い植物であることに鑑みて、今後の投げ込みについては、専門家の意見も聞きながら検討していく。



## 市の水道事業、今後の見込みと 県水値上げの影響は

村田 秀夫 (日本共産党)

**問** 市の水道事業の現状、収支状況や施設等の更新状況は。

**答** 令和5年度決算で約2億1千万円と概ね順調な純利益である。老朽化に伴う更新事業は増加しており、令和3年度から4年間で11億5千万円を実施している。

**問** 料金の見直しが検討されているが、今後の見込みや県営水道値上げの影響は。

**答** 料金収入は減少傾向にある一方で、物価高騰などで施設の更新費用の増加が見込まれる。県水の値上げで受水費は約6千万円の支出増が見込まれる。

**問** 市長に伺う。市民生活を考えるなら、有収率の改善や国、県に対して地下水の汲み上げ制限の緩和や政策的財政投入を要望する等、値上げ回避の努力を行うべきでは。

**答** 公営企業の立場としてできる限りのことを尽くしていく。やはり、県水受水率で何か協議できるか探っていく。国に対しても制度そのものの要望も行っていく必要があると考えている。



## 荒川の水害対策について

梁瀬 里司 (令和研究会)

**問** 令和元年の台風19号による洪水は、各地で被害が発生した。また荒川の増水により、本市でも内水氾濫が発生し、床上床下浸水など被害が発生した。

**答** この時、本市近くの荒川堤防の水位がかなり上がり非常に危険な状態であったが、荒川堤防の強化は行わないのか。

**答** 荒川上流河川事務所において、堤防の改修は順次整備しており、令和6年本市に近い熊谷市久下地区において、堤防下段の盛り土工事を実施した。

**問** 本市に影響する堤防は大丈夫か。

**答** 堤防の工事は実施されていないが、今後実施する予定とのことである。

### 【その他の主な質問】

○避難所におけるトイレの改修（学校屋外・体育館トイレ）

○公共施設エレベーター内に防災椅子の設置

○恐城おもてなし甲冑隊

○水城公園東側園地のトイレ

○ふるさと納税



## 子どもとすべての世代、 そして行田の未来のために

田中 和美 (公明党)

子育て支援、地域交流の補完環境、多世代交流創出ほか、多目的公園は必要と考える。

**問** 現門井球場は来年2025年開設50年を迎え、耐用年度となる。2027〜2033年度までが除却そして活用実施期間と予定しているが、防球ネットやポール等の地震に対する不安もある。早期に今後の方向性を示す時期にきているのではないか。

**答** 前倒しは考えていないが、保全管理に努めていく。

**問** 今後の活用に参考になればと紹介する。南池袋公園は「まちのリビング」とも呼ばれ、緑の芝生が広がりデッキや石段も広く老若男女多世代がくつろげ、防災複合施設も併設されている。現門井球場も指定避難所としての機能や適正な駐車場確保し、地の利も含め地域として広く市民や市外の方も集い愛される多目的公園となり得る可能性を秘めていると考えるが、どうか。

**答** 市にとっても地元にとっても有意義なものにしていく。

### 【その他の主な質問】

○プレコンセプションケア

## 上尾道路・新大宮上尾道路計画に伴う道路整備について

橋本 祐一 (令和研究会)



**問** 上尾道路・新大宮上尾道路が国道17号バイパスまで延伸された時の準備、整備が必要。その際に特に重要となり交通量が増大されることが予想される南大通り線壮幸会行田総合病院から国道128号を抜けて国道125号線までの、特に歩道や交差点整備が必要と考えるがどうか。

**答** 国道125号下池守交差点から南に進み、忍川秩父鉄道を横断し国道128号城西交差点を抜けて国道17号熊谷バイパス持田中交差点を經由してさらに南へ進み前谷地内のがんがら排水路の大橋までの通称南北道路について、国道道を結ぶ市の交通を担う重要な路線と認識している。

これまで両側歩道の整備や国道道などの交差点改良を実施し秩父線踏切拡張事業に合わせて踏切南側一部区間で歩道整備を実施したが、国道128号以北一部未整備がある。今後の交通量の推移や交通安全の観点を踏まえ、幹線道路のネットワークの充実を図っていく。

## 市の地域防災に対する取組について

駒見 行彦 (令和研究会)



**問** 避難所生活が長期化する場合に設置される避難所運営委員会を模擬訓練等で開催したことはあるか。

**答** 避難所開設訓練を実施したことはあるが、運営委員会の模擬訓練を行ったことはない。昨年度から市職員、自治会役員等を対象とした研修会を実施。来年1月に「HUG（避難所運営ゲーム）」の実施を予定している。

**問** それぞれの自治会で行われている防災訓練の内容がばらばらであるため、統一性のある防災訓練を作った方が良いのではないか。

**答** 自治会の役員と相談し訓練を実施しているが、統一できるか検討していく。

**問** 東日本大震災を経験した気仙沼市ではやはり訓練が大切であるとのこと。市民の命や、そこで活動する市職員、消防職員等の命を守るためにも地域を巻き込んだ訓練が必要ではないか。

**答** 危機管理課の職員を中心に地域、自治会を通じて訓練等を検討していきたい。

## 日本遺産「足袋蔵のまち行田」認定継続について

岩崎 彰 (蒼倫維新)



**問** 昨年12月1日、文化庁より二つの条件が付され本市の日本遺産は継続された。2年後に迫る再審査に向け対応は進んでいるのか。

**答** 日本遺産カード、英語版パンフレットや解説動画の作成等市の魅力発信の取組や文化財の積極的な活用に取り組み概ね予定通りに進んでいる。

**問** 市が文化庁に提出した地域活性化計画では令和6年度には旧荒井八郎商店の具体的な活用策を図るとあるが、認定継続に影響はないか。

**答** 旧荒井八郎商店の保存活用は同計画に記載した多くの事業の一つで、事業の一つの遅延が即座に全体に影響を及ぼすことはないと考ええる。

**問** 文化庁より百年フードに認定されたフライ・ゼリーフードを百年後にも残るソウルフードとするために市はどのような業界を応援するか。

**答** 市とおもてなし観光局のHP、パンフレット、SNS等を活用し情報発信を行うほか、国・県等が実施するイベントに積極的に参加していく。



## 持続可能な都市基盤整備 (道路整備事業)について

小林 修(令和研究会)

**問** 令和6年度策定の行田市基本構想の長期的な視点における行田市の将来像の実現に向けての令和6年度から令和8年度の3力年実施計画において、生活道路整備等の進捗が見えない。実施計画策定にあたり市民ニーズの実現及び安心・安全の構築をどう考えたか。

**答** 実施計画策定にあたっては、現在、市民の皆様からいただいた道路や水路等の整備要望が1,000件を超えており、事業採択にあたっては公平性、透明性を確保し、効果的かつ効率的な事業執行を図るため、行田市生活道路等整備事業評価制度に基づき計画、実施している。

**問** 令和6年度予算のポイントである、子育て支援、教育の充実、雇用の創出、交通インフラの各種事業実施による行田市の好循環が、令和7年度、8年度予算に反映されていないのでは。

**答** 予算規模については、予算策定の方針転換に基づき、しっかりと計上、措置していく。



## 特定自動部品のヤード問題について

村田 清治(令和研究会)

ヤードと呼ばれる自動車解体保管場所について埼玉県警が県や消防と地道な立入調査を続ける中、盗難車が持ち込まれたり、不法滞在する外国人の就労場所になったり、犯罪グループの拠点となったりするケースが全国で後を絶たないと言われている。

**問** 埼玉県条例が施行されて届出をされたヤードが県内で300箇所ある。県内で一番多いのが本市の30箇所、続いて岩槻が28箇所、次に多いのが吉川市の27箇所であるが、実態を把握しているか。

**答** 本年9月2日現在で市が把握している市内ヤードは、県への届出が行われている30箇所のほか14箇所を把握しており、合計44箇所である。

**問** ヤードの設置は関係法令に抵触していないか。

**答** 行田警察署の立入調査に同行する中で法令に抵触していることを確認しており、是正指導を行った。

### 【その他の主な質問】

○福祉行政の本市の「生活保護業務の実態」について



## ふるさと納税を活かした まちづくりの展望

新 諒平(令和研究会)

**問** 行田市のふるさと納税は1億2800万円を達成。今後の目標や計画は？

**答** 目標数値は未設定だが、本市独自の魅力的な返礼品を充実させ、より多くの方に知っていただき寄附につなげていきたい。

**問** クラウドファンディング型ふるさと納税の改善策は？

**答** 12月の寄附増加時期に、積極的にプロジェクトの周知を図っていく。

**問** 新たな返礼品開発の具体策は？

**答** 事業者訪問で積極的にアイデアを提案し、地域資源を活用した新たな返礼品の開発を推進する。

**問** 寄附額を関係人口の指標とする考えは？

**答** 有効だが、寄附者の訪問や経済効果の分析も重視。継続的なアプローチで関係を強化する。

**問** 専門部署設置の考えは？

**答** 現体制(専任1名・兼任2名)で対応している。全庁的な連携をさらに強化し、効率的な運用を目指す。

## 古代蓮の里について

小野寺 貴男 (蒼倫維新)



**問** 池の泥土の入れ替えは、蓮の花の生育に一定の効果があると思われるが実施する考えはあるか？

**答** 蓮の池の将来を考えると適正に維持することに関して泥土の入替えと蓮の生育の因果関係も調査した中で実施していく必要があると考えており、あらゆる機会を通じて調査研究する。

**問** 行田タワーや売店の老朽化の兆候、課題はないか？

**答** 行田タワー外壁のコーキング材劣化による雨漏りを一部確認している。売店の雨漏りも含め、指定管理者と協議の上、適正に実施に向けて検討する。

**問** 行田タワーの入館料を上げる考えはあるか？

**答** 入館料の値上げは、付加価値をつけること、維持管理費用等を反映させることを鑑みると有効手段の一つだが、一方で、値上げをするためには市民の皆様の考えを尊重することなども必要であると考える。

## 市民の安心・安全のために

大屋 彰 (公明党)



自転車利用者の乗車用のヘルメット着用が努力義務化され、本市でも自転車用ヘルメット着用を促進するために購入費補助を開始している。

**問** 前年度の申請実績と本年度10月末までの申請実績は。

**答** 自転車用ヘルメット購入費補助事業は昨年10月1日から開始し、昨年度は、5255件、本年度は、10月末時点で3444件、合計で、8699件の申請をいただいている。

**問** 世代別の申請状況は。

**答**

10歳代	252件	29%
20歳代	15件	1.7%
30歳代	30件	3.5%
40歳代	45件	5.2%
50歳代	39件	4.5%
60歳代	118件	13.6%
70歳代	169件	19.4%
80歳以上	75件	8.6%

20歳代の申請が少ないことから、若年世代を中心とした世代への広報に、より一層努めていく。

【その他の主な質問】

- 行田市洪水浸水対策について
- 婚活・結婚支援について

## GIGAスクール端末の更新について

木村 博 (公明党)



現在GIGAスクール構想のもと児童・生徒に一人一台の端末(タブレット)が配備されている。今後これらの端末が順次更新時期を迎えるため、国は様々な通知を発出して注意喚起を行っている。

**問** 端末の更新時期は2025年と言われているが、本市の端末の更新時期とその台数について伺う。

**答** 更新時期は令和8年度を予定しており、更新台数は約5400台で、処分見込みは5900台である。

**問** 国から更新端末の補助を受ける際には、端末の整備、更新計画の考え方、及び更新対象端末のリユース、リサイクル、データ消去等処分計画の策定、公表が義務付けられているが、本市のその認識について伺う。

**答** 本年8月頃から処分計画の策定に着手している。

【その他の主な質問】

- 学校施設の老朽化対策・防災機能強化について
- 感震ブレイカーについて

- 11月**
- 20日 議会運営委員会
  - 26日 議会運営委員会
  - 26日～12月19日 12月定例会
  - 29日 幹事長会議

- 12月**
- 6日 議会だより編集委員会
  - 13日 人権問題研修会
  - 18日 議員説明会
  - 19日 幹事長会議
  - 19日 議会運営委員会
  - 19日 ハラスメント防止条例検討委員会
  - 19日 議会だより編集委員会
  - 23日 国道17号バイパスの高速道路化に係る国土交通省要望活動

- 1月**
- 10日 幹事長会議
  - 10日 議会改革推進委員会
  - 20日～21日 議会運営委員会行政視察(三重県四日市市、桑名市)
  - 23日 岩手県奥州市行政視察来庁
  - 24日 上尾道路・新大宮上尾道路建設促進議員連盟視察研修
  - 29日 議会だより編集委員会

- 2月**
- 3日 幹事長会議
  - 3日 議員説明会

## 国道17号熊谷バイパスの高速道路化に係る国土交通省要望活動



12月23日、国土交通省において、国道17号バイパスの高速道路化に係る国土交通省要望活動が開催されました。

将来の地域経済の活性化のため、近隣市と連携し広域幹線道路整備を国・県に対し要望しています。特に、国道17号バイパスについては、上尾道路が鴻巣市箕田まで整備が進められており、さらに高速道路化を実現することで地域経済生活環境の飛躍的な向上が期待されることから、関係機関・団体の皆様とともに「チーム行田」として継続した要望活動を実施してまいります。

## 上尾道路・新大宮上尾道路建設促進議員連盟視察研修

1月24日に、国道17号渋川西バイパス付近において、上尾道路・新大宮上尾道路建設促進議員連盟による視察研修が実施されました。

渋川西バイパスは、渋川市内の交通渋滞の緩和と、渋川・吾妻地域の連携及び活性化の支援を目的とした、地域高規格道路「上信自動車道」の一部区間となるバイパス事業で、バイパス区間(延長1.9キロメートル)について、令和7年度の開通を目標に事業が進んでいます。

今後関係市と連携しながら、引き続き移動性の向上と地域交流に貢献する事業としての上尾道路・新大宮上尾道路建設要望活動を実施してまいります。



# 市議会を傍聴してみませんか

## 3月 行田市議会定例会 日程表(予定)

3月定例会は2月19日(水)開会予定であり、日程(案)の決定は2月13日(水)予定の議会運営委員会で決まります。



市議会には定例会(3月、6月、9月、12月)と、必要がある場合に開かれる臨時会とがあります。議場は市役所の3階にありますので、エレベーターをご利用ください。※定員50名

日	月	火	水	木	金	土
<sup>2</sup> /16	17	18	19 本会議/招集日 (提案説明)	20 本会議 (提案説明・細部説明)	21 (議案調査)	22
23 天皇 誕生日	24 振替休日	25 (議案調査)	26 本会議 (議案質疑)	27 本会議 (一般質問)	28 本会議 (一般質問)	<sup>3</sup> /1
2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問・委員会付託等)	5 議案調査	6 建設環境 常任委員会	7 建設環境 常任委員会	8
9	10 健康福祉 常任委員会	11 健康福祉 常任委員会	12 総務文教 常任委員会	13 総務文教 常任委員会	14 (事務整理)	15
16	17 (事務整理)	18 (事務整理)	19 本会議/最終日 (委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)	20 春分の日	21	22

※日程は予定であり、変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 健康管理のため、傍聴席で

### 「水分補給」が可能となりました。

#### 【水分補給に関する注意事項】

\*飲み物は「水・お茶・麦茶」に限ります。 \*容器はペットボトルもしくはマイボトルに限ります。



ペットボトルもしくはマイボトル



水・お茶・麦茶以外は禁止



委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
町田	大屋	養田	村田	小林	新諒	駒見行彦	岩崎彰
光	彰	雄	夫	一	平	彦	彰

#### 編集委員

(駒見行彦)

令和6年12月定例会も閉会し、市議会もつつがなく令和7年を迎えることができました。諸説ありますが、本年は六十年に一度巡ってくる「2020の年」で、「これまでの努力や準備が実を結び、勢いを増していく年になると言われているそうです。市議会としても更なる市政の発展はもとより、まずは市民の皆さまから愛される『まち』の創造に向け、全力を尽くしてまいります。

#### 編集後記